

2014年度第2四半期決算の概要（補足資料）

三井化学株式会社

2014年11月5日

目次

1) 2014年第2四半期決算の概要	… 1
2) 機能化学品セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 2
3) 機能樹脂セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 3
4) ウレタンセグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 4
5) 基礎化学品セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 5
6) 石化セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 6
7) フィルム・シートセグメントの増減概要（売上高・営業利益）	… 7

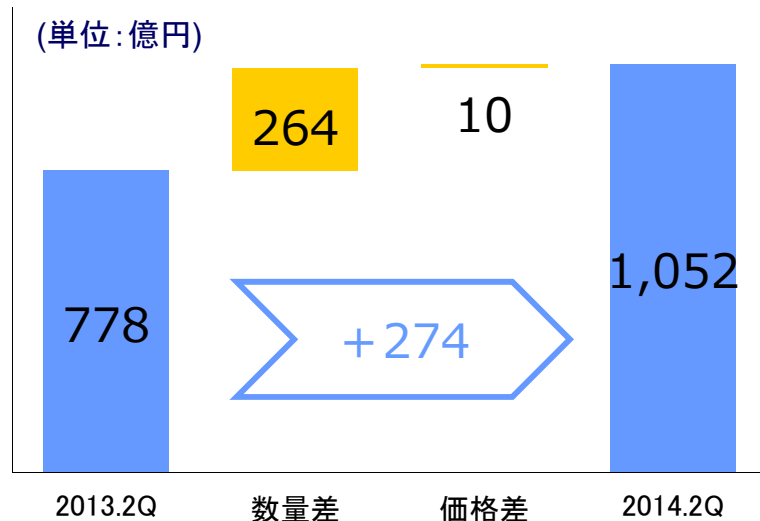
1) 2014年第2四半期決算の概要

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-9月決算	14年度 4-9月決算	増減	増減率
売 上 高	7,316	7,760	444	6%
営 業 利 益	110	186	76	69%
営 業 外 損 益	△3	8	11	—
経 常 利 益	107	194	87	81%
特 別 損 益	△24	△33	△9	—
税金等調整前四半期純利益	83	161	78	94%
四 半 期 純 利 益	10	74	64	616%
為替レートの影響	99	103	4	
国産ナガサの増減	64,700	70,400	5,700	
中 間 配 当	3円/株	2円/株	△1円/株	—

2) 機能化学品セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



1,052 億円 (前年同期比 +274 億円)

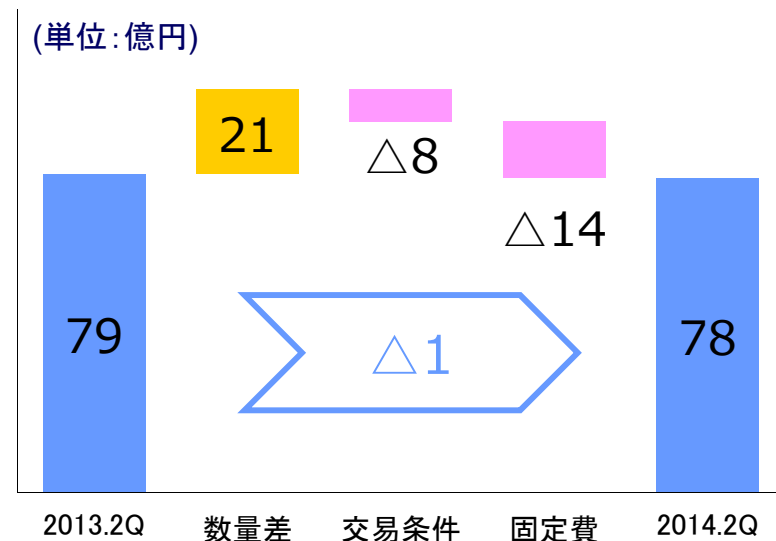
数量差 +264億円

- ・メガネレンズモノマー、不織布、農薬等の主に海外での需要拡大に伴う拡販。
- ・歯科材料事業買収による増加。

価格差 + 10億円

- ・主にヘルスケア、農薬の為替差。

営業利益増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



78 億円 (前年同期比 △1 億円)

数量差 +21億円

- ・メガネレンズモノマー、不織布、農薬の輸出拡大等による増販。

交易条件 △ 8億円

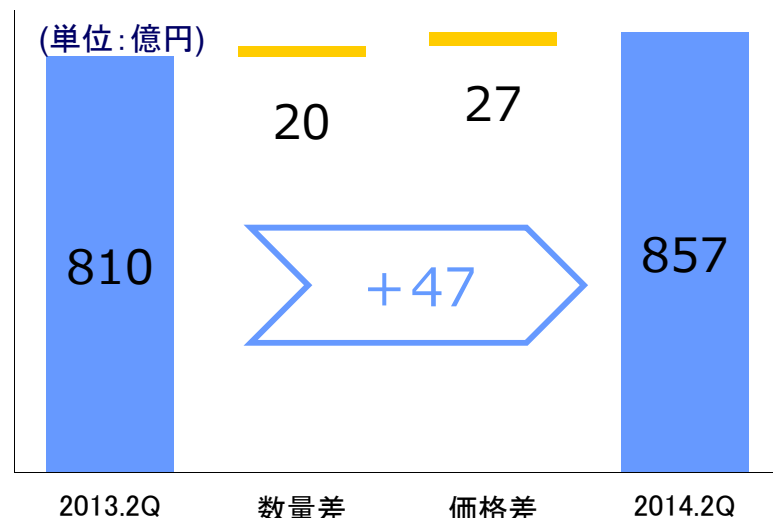
- ・在庫の低価法評価による影響および不織布の原料価格上昇。

固定費他 △ 14億円

- ・歯科材料事業買収による暖簾償却費の増加および固定費の増加等。

3) 機能樹脂セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



857 億円 (前年同期比 +47億円)

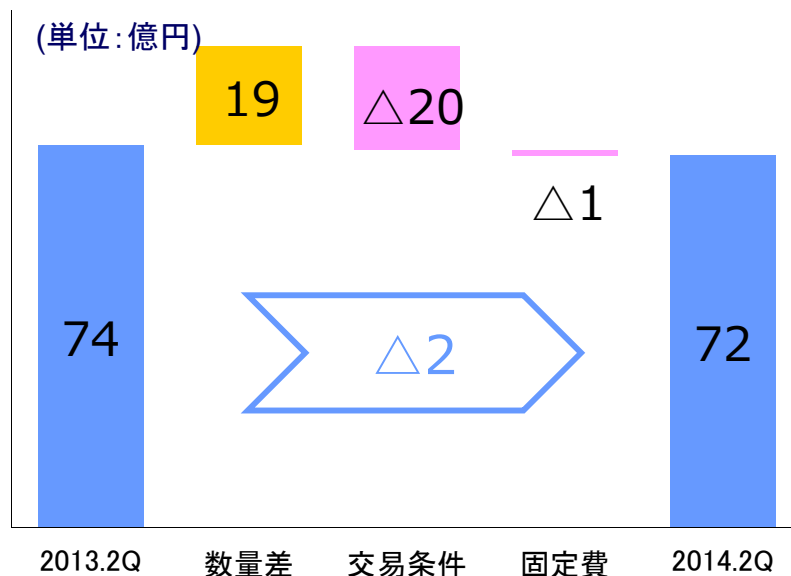
数量差 +20億円

- ・北米を中心とした自動車用途の需要拡大に伴うエラストマー、機能性コンパウンドの拡販。
- ・スマートフォンおよび電子情報フィルム向け機能性ポリマー等の拡販。

価格差 +27億円

- ・主に為替差による増収。

営業利益増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



72 億円 (前年同期比 △2億円)

数量差 +19億円

- ・自動車用途の需要拡大に伴うエラストマー、機能性コンパウンドの増販。
- ・スマートフォンおよび電子情報フィルム向けに出荷が好調な機能性ポリマー製品の増販。

交易条件 △20億円

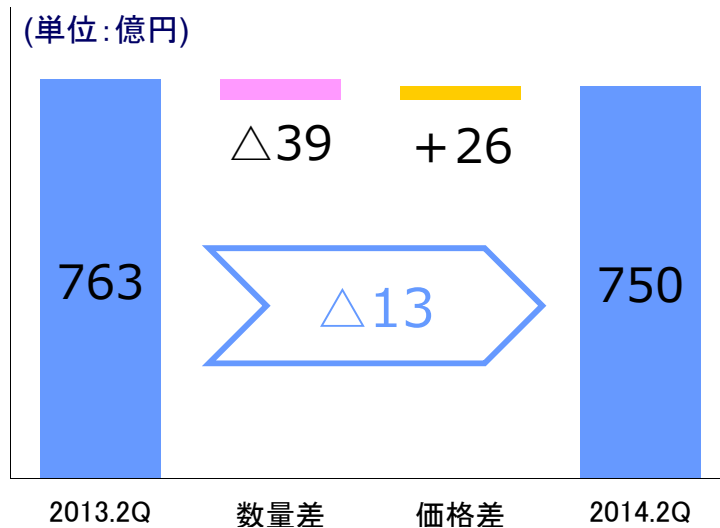
- ・主にエラストマーでのアジア原料価格上昇に伴う交易条件の悪化。

固定費他 △1億円

- ・販管・研究費等の増加。

4) ウレタンセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



750億円 (前年同期比 △13億円)

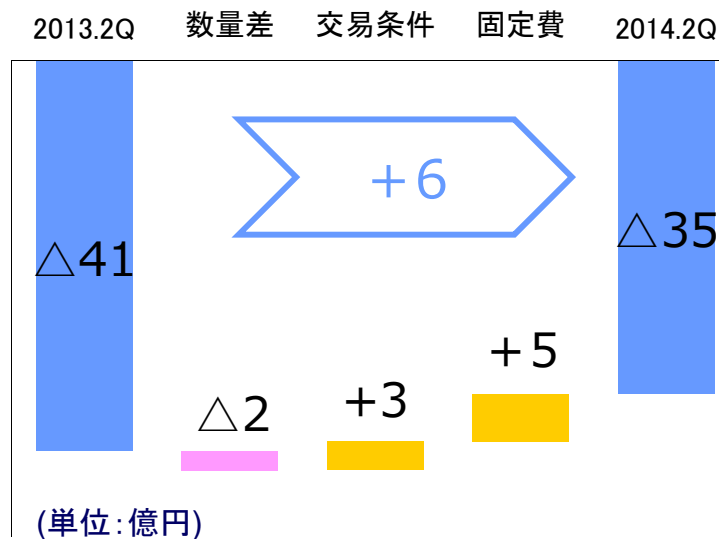
数量差 △39億円

TDI等ポリウレタン材料の販売数量減少。

価格差 +26億円

主に為替差。

営業利益増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



△35億円 (前年同期比 +6億円)

数量差 △2億円

ポリウレタン材料の減販等。

交易条件 +3億円

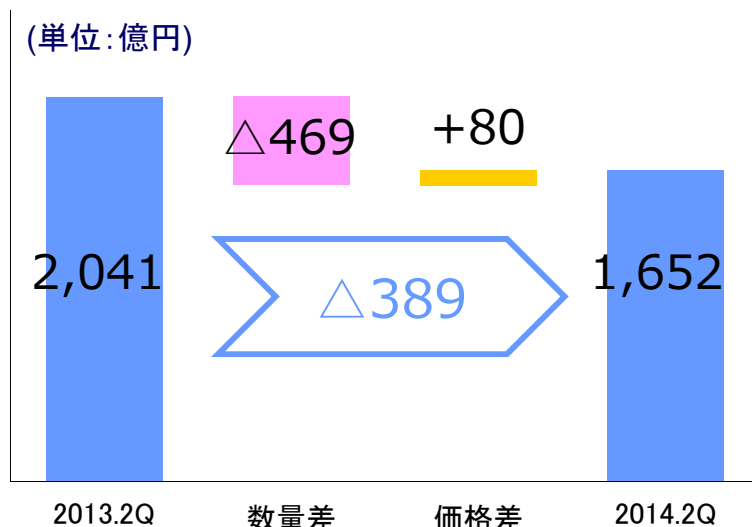
海外のTDI市況下落あるも為替差等による増益。

固定費他 +5億円

コスト削減等。

5) 基礎化学品セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



1,652億円 (前年同期比 △389億円)

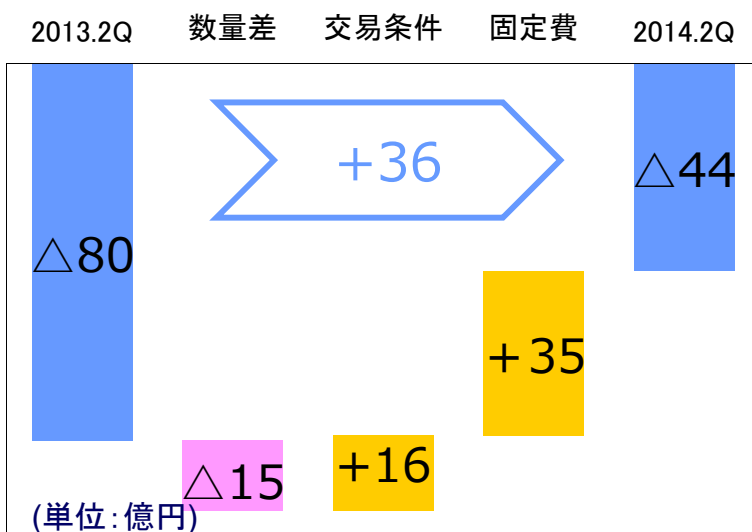
数量差 △469億円

PTAの連結子会社範囲変更に伴う減少およびPH類での地産地消化に伴う輸出の減少等。

価格差 + 80億円

輸出、海外品の為替差およびフェノール類を中心とした国内販売価格上昇による増収。

営業利益増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



△44億円 (前年同期比 +36億円)

数量差 △15億円

PTAの連結子会社範囲変更に伴う減販等。

交易条件 +16億円

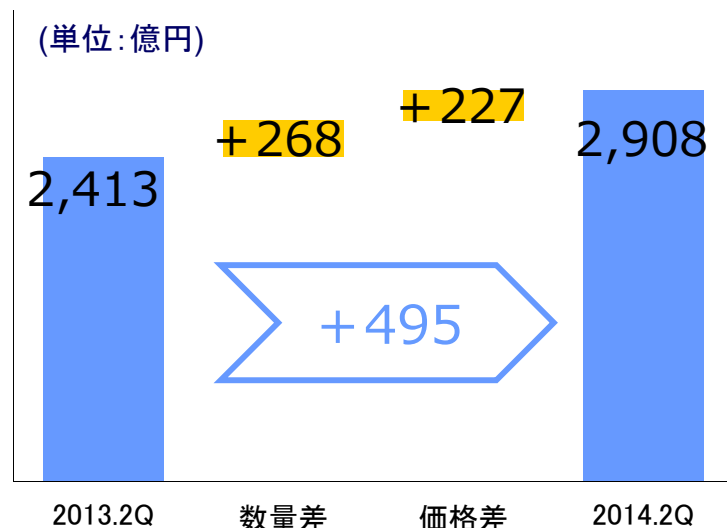
フェノール類。

固定費他 +35億円

BPAプラント停止に伴う固定費減少およびPTAの連結子会社範囲変更に伴う固定費減少等。

6) 石化セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



2,908億円 (前年同期比 +495億円)

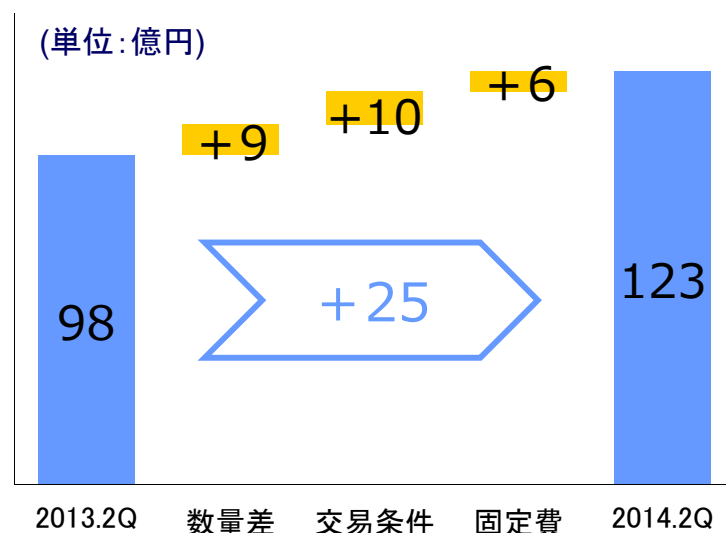
数量差 +268億円

海外の自動車向けPPコンパウンドの増加、国内ポリオレフィンの需要堅調。

価格差 +227億円

為替差、および原料価格上昇に伴うポリオレフィン価格の上昇。

営業利益増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



123億円 (前年同期比 +25億円)

数量差 +9億円

海外PPコンパウンドの拡販、国内ポリオレフィン販売堅調。

交易条件 +10億円

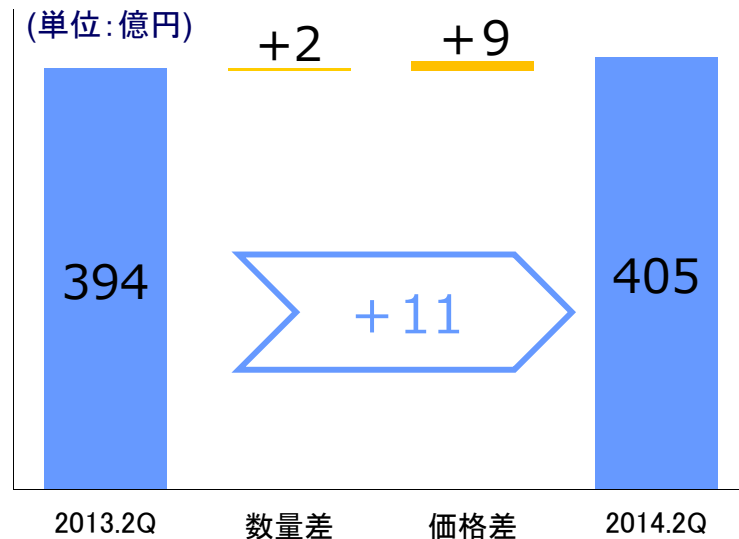
ブタジエン等の副産物市況改善およびナフサクラッカー稼働率の向上等。

固定費他 +6億円

ポリオレフィンプラント停止に伴う固定費減少等。

7) フィルム・シートセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



405億円 (前年同期比 +11億円)

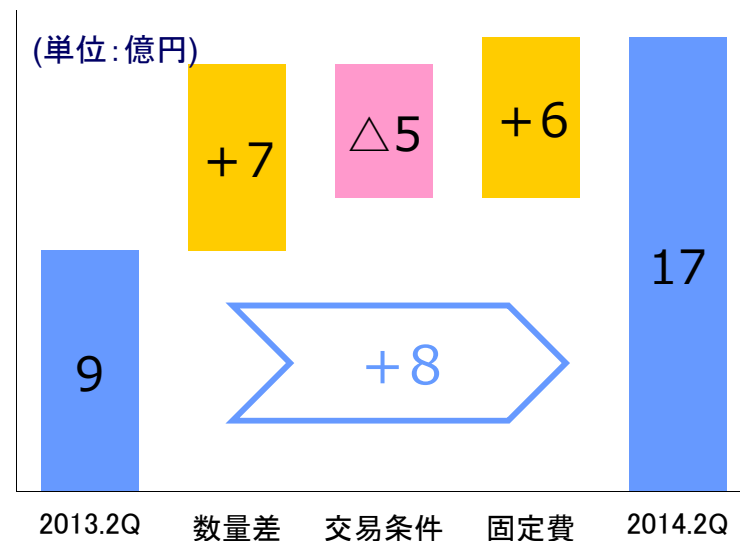
数量差 +2億円

包装フィルム、機能シートの減販あるも、電子・情報用フィルムの増販。

価格差 +9億円

包装フィルムでの原料価格上昇に伴う販売価格改定の影響等。

営業利益増減 (2014年第2四半期 対 2013年第2四半期)



17億円 (前年同期比 +8億円)

数量差 +7億円

電子・情報用フィルムの増販等。

交易条件 △5億円

ナフサ価格上昇に伴う原料価格上昇による減益。

固定費他 +6億円

コスト削減等。